

平成 29 年度第 3 回奈良市プロポーザル採否審査会会議録

開催日時	平成 29 年 9 月 8 日（金）午後 1 時 0 0 分から 1 時 2 5 分まで		
開催場所	奈良市役所 中央棟 5 階 キャンベラの間		
出席者	委員長	向井副市長	
	委員	津山副市長 萬谷法令遵守監察監 神田会計契約部長 川尻市民生活部長 梅森観光経済部長 岡本都市整備部長 杉野建設部長 尾崎教育総務部長	
	事務局	契約課長、契約課長補佐、契約課契約係長	
開催形態	公開（傍聴人 1 人）	担当課	会計課
議題 又は 案件	1 会計事務に係る人材派遣業務委託について		
決定又は 取り纏め 事項	1 採用		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
<p>1 会計事務に係る人材派遣業務委託について</p> <p>担当課 事業内容について実施要項に基づき説明</p> <p>委員長 これは事務を委託するそのものの委託ではなくて前段階の準備ですか。</p> <p>担当課 業務を民間に委託するに際しましては、どういった業務を受けていただけるのか。ここは職員がやること、ここは民間事業者でも出来ることの切り分けが必要となってきます。定型的なものを委託できるよう思っております。詳細を民間の事業者と調整して実際の業務委託に繋げていきたいと考えております。</p> <p>委員長 実際の次の段階の業務を委託するときに、この業者は入れるのですか。</p> <p>担当課 はい。これにつきましては、マニュアル作成までが今回の業務の内容となっているので、今まで奈良市で派遣を受けてそういう委託した実績から考えますと、おそらく一般競争入札になると思われませんが、一般競争入札になれば当然今回の事業者も入っていただくことは可能だと考えます。もし、特殊な部分があつてプロポーザルというようなお話になったとしても、今回の事業者も入っていただくことについて、特に問題はないと考えております。</p> <p>委員 他の自治体への派遣実績というのがありますけれども、現にこういった会計業務をやっているところはあるのですか。</p> <p>担当課 直近で大津市が実施されたことがあります。北九州市も業務委託をされているようなお話もありますし、あと東京の区のほうは何件かやっていると調査のうえ把握しています。</p> <p>委員 他自治体で委託している業務内容は、ある程度わかっているわけですね。</p>			

担当課 ただそれにつきましては、財政規模も異なりますし、どこまでやるというのは、結局法的にだめというところがあります。どこまでやるというのは、お金をどれだけ出せるかが大きく関わってくると思います。

委員 プロポーザルで選定されているところはあるのですか。

担当課 大津市が最近プロポでされております。

委員 最終の委託は、入札ですか。

担当課 大津市の場合は、最終もプロポです。この6月くらいにプロポーザルをされています。

担当課 派遣を受けながら来年9月末までありますので、その間に実際の業務請負の部分をどうするのかということは十分検討できると考えております。

委員長 決まった業者が12月から来年9月まで会計課に何人か来られて、実際の事務を見て相談しながらこれは委託できますね、委託できませんねということをやっていくということですね。

担当課 改善しなかなければならない点とか、それに合わせたマニュアルの作成を行っていただきます。

委員 イメージ的には、先行している人事課のようなものになるのですか。

担当課 規模は異なりますけれども人事課も業務の切り分けをされて、それから入札された結果、今の事業者に委託しています。

委員長 今回の審査会は事前の部分の話ですけれども、最終のイメージの話になりますが、具体的に言えば会計課に何人いてどれぐらいになるのですか。

担当課 量が想像できないのですが、イメージとしては、2～3人それからチーフの審査チームを作っていて消耗品などを審査していただいたものをチーフの方から納品を受けて、再度職員でチェックしたうえで支払います。

委員長 1回目のチェックということですか。

担当課 その部分を職員ではなくて委託事業者にしていただく。

委員 完全に分離して何人分か職員の分を業務委託というわけでもない。

担当課 それは難しいと考えています。

担当課 職員ですと3月4月だけたくさんくださいということではできませんが、請負になればそこはフレキシブルに対応していただけるというメリットはあると思います。審査業務につきましては、年度末年度変わりの時期が明らかに多いですので、2月から増えだして3月4月が一番多くて5月まで続くということが、職員を一人でも二人でも増やしてほしいところなんです、実際正規職員は増やしてもらえないので、民間でしたら平時は三人で繁忙期は五人とか増やしていただけるそういった対応が可能だと思います。

委員 量と配置とでバランスを取ってその分会計課の職員は本来の指導にあたるとかそういうところに力を入れることができる。

担当課 そういう指導がきちりできたら各課の庶務担当者も不備が減ったら当然負担が減るので、そういった効果もあると思います。

委員 業者の経験値や実績その他業者のもっているノウハウを入れて、市が単独では仕様書を作ってはできないということですね。

担当課 一緒に作り上げていく必要がございますので、お金だけの競争では難しいと思いますのでプロポのほうでお願いしたいと思います。

委員長 何かを提案してもらう提案能力のある業者を選ぶからプロポーザル方式ということが基本ですが、今回のこの業務でどの部分提案を求めるのですか。今やっている会計事務の流れで無駄があるかどうかはわかりませんが、効率的なやり方などの提案を求める。それに見合った最終的に仕様書を作ってやってくれる業者を見つけていく。実際会計課の中でも業務改善というか効率性というのは何かあるのでしょうか。

担当課 マニュアルを整備するとか、審査項目を絞って審査するとかいろいろな取組みはしているのですが、定型的な審査をする業務が多い。

委員長 業務委託の前段の部分で提案してもらう、プロポーザルでする内容というのは、具体的には何ですか。

担当課 来てもらう方の個人的な能力が重要であり、こういう経験をしていましたと何も知らない人がいきなりできるといえできないと思いますし、提案につきましては、他の市町村で経験されていればこんなことをしていますよとかそういった知らないことを提案してほしい。本当に他の市町村とか民間では実際やっていないなど我々ではわからないところがあるので、民間のノウハウを使っていきたいというところを提案していただきたい。

委員 派遣ということは、市の職員と混ざり合って作るということですね。市の職員が主導してアイデアをもらって作っていくとのことですが、そこには市の職員の能力が必要になってくると思いますが、委託という選択肢の中で完成形をもらうということは考えられなかったのですか。

担当課 委託になりますと直接の指示が出来なくなりますし偽装請負になりますので委託というのは難しいと考えております。

委員 完璧な仕様書が出来ていて、これを作って成果品を持ってきてくださいだったら委託でもいいと思いますが、人事課の時も議論があったが指示系統とか守りつつ派遣といえども業務委託になるのでむこうの責任で作ってもらうとか作ってもらわないとかです。一緒に作るというイメージですよ。

担当課 はい。

委員 実際問題、そういう人材を市が知っていれば、派遣するという事で業者を入れることなので割高になってしまう。市の職員がそういった人を知っていれば直接雇用できる選択肢はありますよね。

担当課 そういう人がおられれば考えられますが、ただ会社のサポートも必要ですし、なかなか個人は難しい。やはり会社としてのサポートもいると思います。

委員長 プロポーザルでなければ、単純に入札ということですか。

担当課 仕様書が本当に書けるかどうかというところです。

委員長 効率性とかを上げられるメリットを取るためにプロポーザルをやるということが基本で、他の市町村や民間でもっと効率的なやり方。単純に考えたら1回目のチェックを単純に民間委託するとどう違うのかという話でしょう。そうではなくてどんな方法があるかわかりませんが、何かそういうものをちゃんと提案をいただくいろいろな経験例を出してもらえるような業者を選んでほしいと思います。それに沿ってプロポーザルをやるというふうに解釈しますけれども、皆さんどうですか。プロポーザルでやるということによろしいですか。

委員 はい。

委員長 それでは準備のほうをよろしくお願いします。

資料	【資料1】平成29年度第3回奈良市プロポーザル方式採否審査会調書 案件番号1 【資料2】会計事務に係る人材派遣業務委託プロポーザル実施要項
----	---